

令和3年度全国学力・学習状況調査結果 府中市立府中第八中学校

【調査の概要】 調査日時：令和3年5月27日（木）、調査対象：中学校第3学年、調査方式：悉皆調査
 調査事項：生徒に対する調査（ア：教科に関する調査〈国語、数学〉・イ：質問紙調査）

学力調査の結果

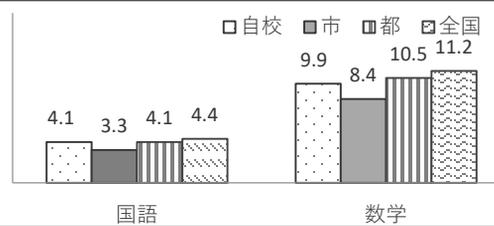
1 平均正答率(%)及び中央値(問)

中央値とは、統計的な指標の一つで、一人一人の正答数を大きい順に並べたときの、全体の中央に位置する値のことで、

	国語(14問)		数学(16問)	
	平均正答率(%)	中央値(問)	平均正答率(%)	中央値(問)
自校	67	10.0	63	10.0
府中市	69	10.0	64	11.0
東京都	67	10.0	60	10.0
全国	64.6	9.0	57.2	10.0

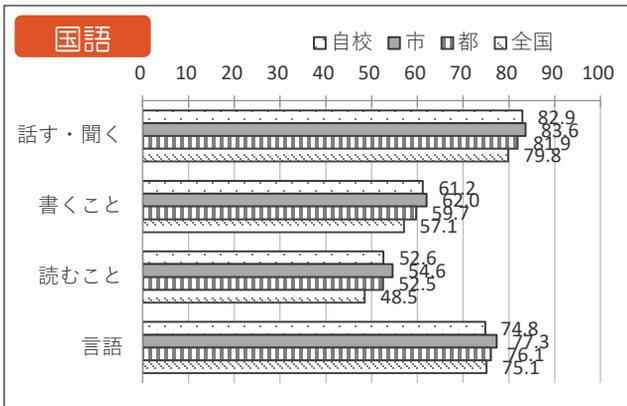
調査結果は、生徒が「どのような力を伸ばしているか」、「どのような力を十分伸ばせていないか」という具体的な成果と課題に着目し、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善、授業改善に役立ってます。

2 各教科の無解答率(%) (全設問の無解答率の平均値)



○国語では、平均正答率、中央値ともに、全国を上回り、東京都と同じでした。
 ○数学では、平均正答率は、全国・東京都を上回りました。中央値は、全国・東京都と同じでした。

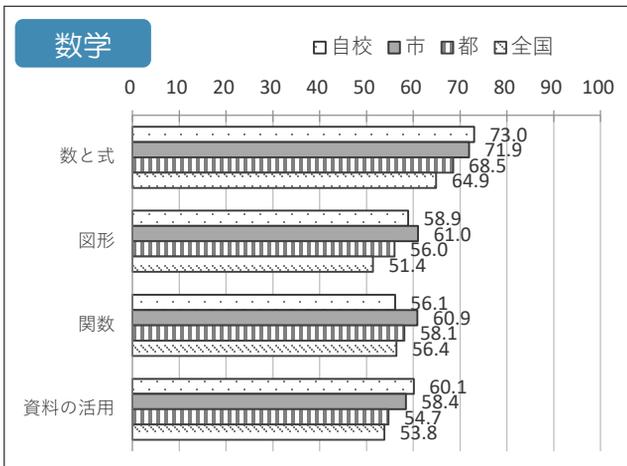
3 学習指導要領の領域別正答率(%)



4 成果や課題があった主な設問

国語

- 2一：書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く
 正答率 自校 32.6% 都 27.9% 全国 24.8%
- 4二：事象や行為などを表す多様な語句について理解する
 正答率 自校 82.6% 都 78.0% 全国 74.0%
- △4三：相手や場に応じて敬語を適切に使う
 正答率 自校 28.0% 都 39.1% 全国 40.3%



数学

- 5：与えられたデータから中央値を求めることができる
 正答率 自校 94.1% 都 84.1% 全国 84.5%
- 8(2)：相対度数の必要性和意味を理解している
 正答率 自校 45.3% 都 38.5% 全国 36.8%
- △4：関数の意味を理解している
 正答率 自校 47.5% 都 50.2% 全国 48.0%
- △7(2)：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
 正答率 自校 28.0% 都 30.3% 全国 27.7%

5 学力調査の結果についての成果と課題

○成果

語句やその使い方について理解し、段落相互の関係に注意して書いていることや、資料の傾向を読み取る上で必要な中央値や相対度数について、理解していることが分かりました。

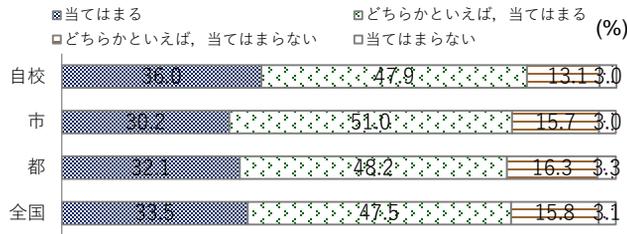
△課題

敬語を適切に使うことや、与えられたグラフを用いて、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することについて課題が分かりました。

質問紙調査の結果

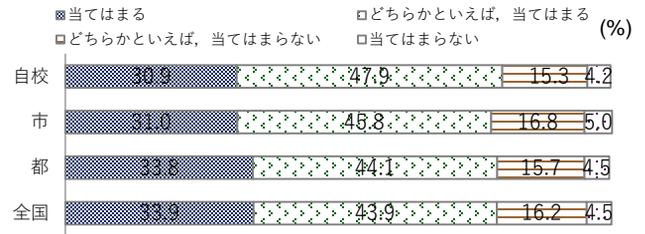
主体的・対話的で深い学びの視点から

【33】1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



課題の解決に向けて、自ら考え、取り組もうとしている生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【37】学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



話し合い活動を通じて自らの考えを深め、広げようとしている生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

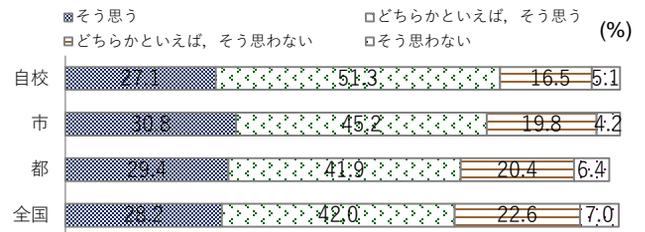
思考力・判断力・表現力の育成の視点から

【34】各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか



各教科で学んだことを活用しようとする生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

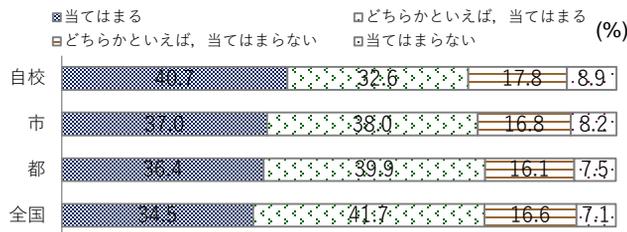
【39】総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



自ら課題を立て、進んで探究的な学習に取り組もうとする生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

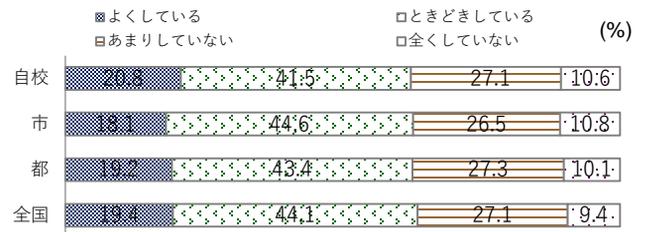
自己有用感、家庭学習、地域・社会との関わりの視点から

【6】自分には、よいところがあると思いますか



自分にはよいところがあると思う生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【17】家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



家で自分で計画を立てて勉強をしている生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

【23】新聞を読んでいますか



週に1回以上新聞を読んでいると回答している生徒の平均正答率は、高い傾向にあります。

今後の取組について

〈学校での取組〉

今後も各教科や総合的な学習の時間を通して、自ら考え、課題を解決する中で自己有用感を高められるように取り組んでいきます。

〈家庭での取組についてお願い〉

学習した内容をもう一度家庭で復習することが定着できるよう、引き続きご協力をお願いいたします。また、家庭でも新聞の内容を話題にする場面を設けていただくようお願いいたします。